

調査報告書

〔2023年版ローラー系部品マーケット総覧〕

『価格上昇時代に突入した 部品業界の総合分析』

＝ローラー、ベルト、ブレードなど機能性部品の生産動向を詳細調査＝



＜ クリーナーレスシステムを採用した HP の A4 カラープリンタ
「HP Color LaserJet Pro 4000 シリーズ」 ＞



＜ リコーの最新カラーMFPは環境機能を大幅に向上 ＞



＜ 新定着システムを搭載したキヤノンの A3 カラープロダクションプリンタ「imagePRESS V1350」 ＞

2023年4月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』

=ローラー、ベルト、ブレードなど機能性部品の生産動向を詳細調査=

II. 調査主旨

事務機業界はコロナ禍以降、断続的な部材不足や製造拠点のロックダウンによる生産活動の低迷に苦しんできたが、足元では生産面での混乱は解消に向かっている。コンテナ物流の目詰まりもほぼ収束したことで、業界関係者の関心は今後の販売需要という点に移りつつある。

直近の生産需要においては、年明け以降は本体需要、消耗品需要ともに低迷気味との情報も伝わってきている。これはサプライチェーンのなかでメーカー側、販売側ともに在庫積み増しに一定の目途がたち、現在は在庫の適正化への取り組みが進展していることが要因とみられる。ただ、在宅勤務向け需要が一巡したことや欧米の景気悪化により事務機器への投資優先順位が低下しているなど市場そのものの地盤沈下を懸念する声も目立ってきた。

事務機用ローラー／ベルトメーカーにおいては今後数年間が踏ん張りどころとなる。オフィスにおけるプリントボリュームの低迷により、ローラーやベルトの生産量がコロナ以前の水準に回復することは相当困難となってきた。加えてエネルギー高や原材料高による生産コストの上昇により、多くのサプライヤーが利益を確保することも難しくなってきた。事業維持の観点からサプライヤー各社による値上げ要請も続いており、ハードメーカーも一定レベルでこれを受け入れざるを得ない状況である。為替なども含めたコスト変動要因は日々変化しており、サプライヤー、ハードメーカーの両者間で適正価格への模索は当面続く。

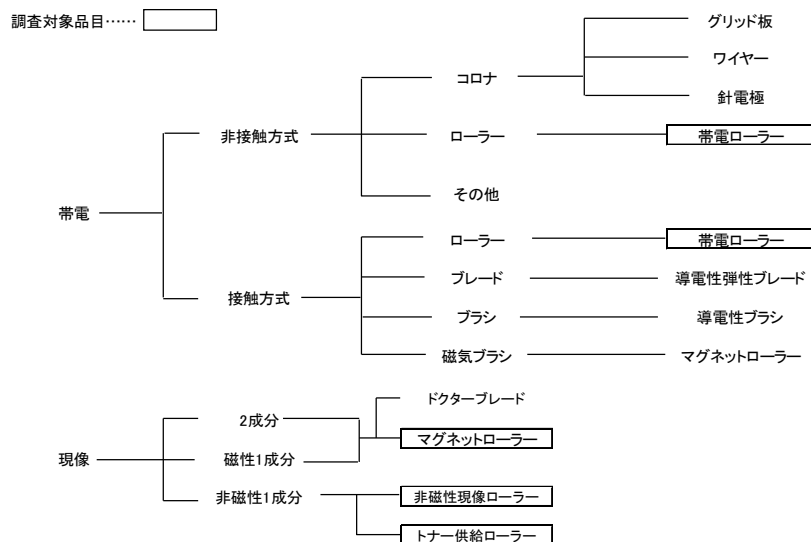
サプライヤーのなかでも会社規模の大きい大企業を中心にローラー／ベルトビジネスへの再編圧力は年々高まっている。今後の需要動向次第では、カネカ(2021年に事業撤退)やブリヂストン(2022年に事業売却)に続き再編を決断する企業が出てくる可能性が十分にあり得る状況である。業界で生き残っていくには、利益を維持していける事業体制(適正価格による販売、生産拠点の集約、自動化設備の導入、既存設備の償却状況など)が整っているかがこれまで以上に重要になる。

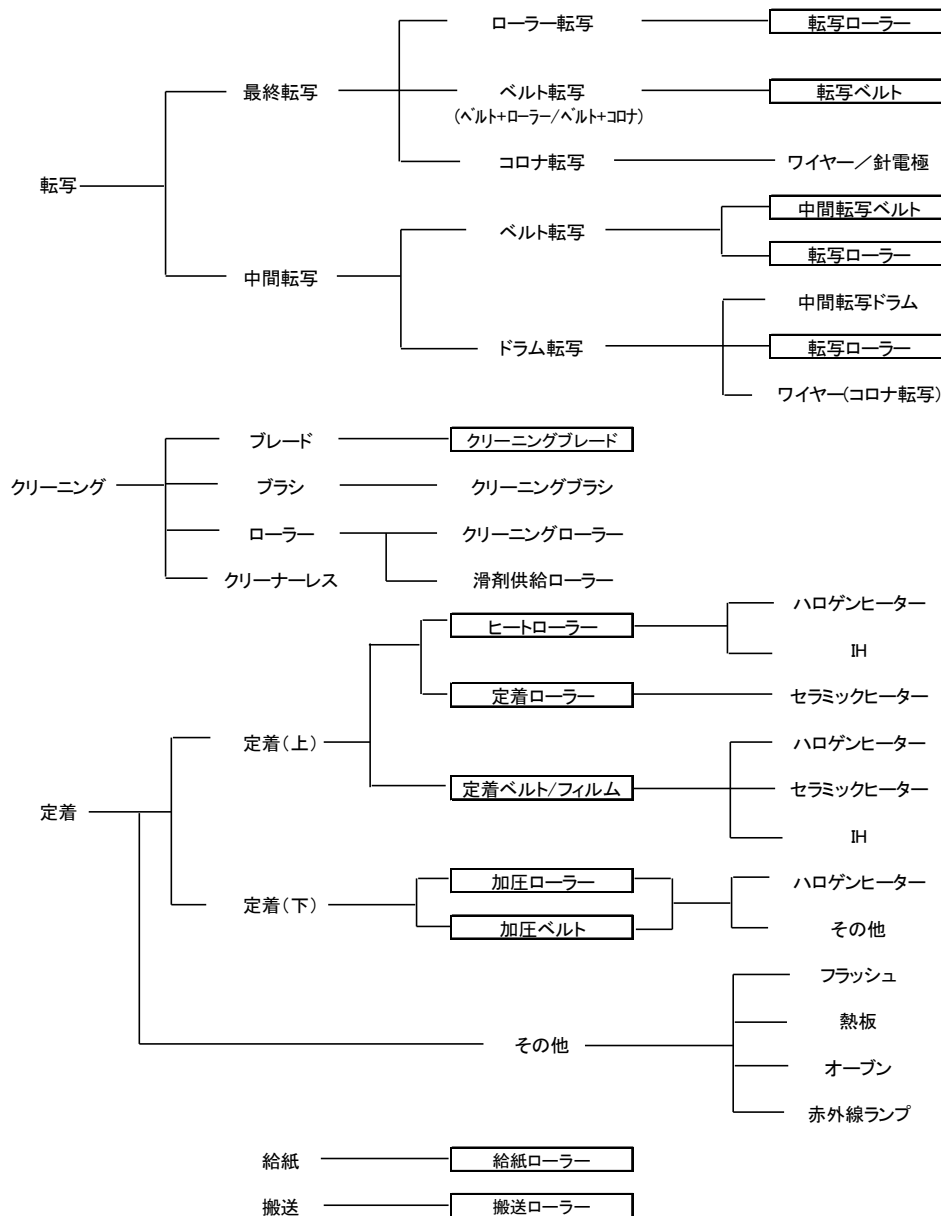
本レポートでは、帯電、現像、転写、定着、クリーニング、給紙・搬送といったプロセス部材別に国内外の専門メーカー、及び内製メーカーの現状と今後の戦略を調査・分析するものである。今回はローラー系部品マーケット総覧の18回目の刊行にあたりますが、一般的な見方にとらわれることなく、専門的・客観的見地から業界の将来動向を調査・分析してまいります。このレポートが業界関係者にとって今後の戦略立案の一助となることを願います。

日系ローラー専門メーカー、中国・韓国系ローラーメーカー・内製メーカーを詳細分析

III. 調査対象品目と調査対象先

1. 調査対象品目





2. 調査対象先

- 2-1. ロールー専門メーカー：日本メーカー(32社)／韓国メーカー(9社)／中国メーカー(48社)／香港メーカー(1社)／台湾メーカー(2社)／その他(6社)／内製メーカー(5社) (合計 103社)
- 2-2. システムメーカー(主要 15社)：MFPメーカー／プリンタメーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

- 1. 調査範囲：調査対象範囲は2020年～2026年とする。
- 2. 調査方法：1) 調査対象先メーカーへの直接訪問面接調査 (WEB 調査含む)
2) 公開されている文献、資料、統計などの分析及び調査
3) 弊社に蓄積されているデータの活用

V. 調査形態、調査期間、他

- 1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
- 2. 調査期間：2023年3月～4月
- 3. 調査報告書刊行日：2023年4月25日
- 4. 提出報告書：A4判製本+PDF
- 5. 価格：400,000円 (消費税別途)
- 6. 調査担当：山本 幸男／吉田 晃介／針生 正史
(TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、ホームページ：http://www.datasupply.jp/
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp)

《目次》

[調査結果の要旨]

A. 分析編

A-1. 機能性部品の全体市場動向 1

1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向 (2020年~2026年)

2. プロセス別出荷本数・出荷金額 (2022年) 3. ローラーメーカーの出荷金額シェア (2022年) 4. 部品別OEM/サードパーティ比率 (2022年)

A-2. 部品別市場動向 5

1. 出荷本数 (2020年~2026年) 2. 出荷金額 (2020年~2026年)

3. 用途別市場動向 (2022年/2026年) 4. サイズ別市場動向 (2022年/2026年)

5. 材料別市場動向 (2022年/2026年) 6. 部品別技術、材料動向

7. 価格動向、寿命 8. プロダクションプリンタと大判プリンタ用部材の出荷状況

9. 部品別メーカー別生産拠点 10. ローラー系部品の参入メーカー一覧

11. システム別使用部品点数

12. プロセス別メーカーの最新動向: 12-1. メーカー別プロセス概要全体

12-2. プロセス別メーカー動向 12-3. 個別メーカー最新動向

キヤノン/リコー/富士フイルムビジネスイノベーション/コニカミノルタ/シャープ/東芝
テック/京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/OKI/村田機械/HP
Printing Korea/レックスマーク/Pantum/Lenovo/Deli

A-3. ハードウェアの出荷動向 36

1. ハードウェアの方式別出荷台数 (複写機/プリンタ)

2. 2022年のハードメーカー別方式別出荷台数: 2-1. 複写機の出荷台数

2-2. レーザー/LEDプリンタの出荷台数

A-4. 中国及び東南アジア地域におけるシステムメーカー/部品メーカーの生産拠点 39

A-5. 主要セットメーカー別部品メーカー別供給一覧(2022年実績) 47

キヤノン/リコー/富士フイルムビジネスイノベーション/コニカミノルタ/シャープ
/東芝テック/京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/OKI

B. 部品別市場編 61

形状図と材料、製造工程、使用本数/メーカー別市場動向、技術動向、価格、供給関係、工場

[1]帯電ローラー/[2]現像ローラー:[2]-1. 現像部合計/[2]-2. マグネットローラー/
[2]-3. 非磁性現像ローラー/[3]トナー供給ローラー/[4]転写ローラー/[5]中間転写ベルト
/[6]定着ローラー/ベルト:[6]-1. 定着部合計/[6]-2. 加圧部合計/[6]-3. ヒートロー
ラー/[6]-4. 定着ベルト/[6]-5. 加圧ローラー/[6]-6. 加圧ベルト/[7]クリーニングブ
レード/[8]給紙ローラー/[9]搬送ローラー

C. 個別メーカー編 153

C-1. 国内専業メーカー (50音順) 153

<共通調査項目>ローラー系部品の売り上げ高(複写機・LBP向け/ATM向け/インクジェットプリン
タ向け)/出荷本数・出荷金額 (2020年~2026年予測) /用途別サイズ別出荷本数・出荷
金額 (2020年~2026年予測) /材料別出荷本数・出荷金額 (2020年~2026年予
測) /技術及び材料の動向/価格動向・寿命/材料購入先/供給先一覧/国内外の生産拠点

[1]アーケム (旧ブリヂストン) / [2] I.S.T / [3] 荒井製作所 / [4] イノアック / [5] SWCC (旧昭
和電線ケーブルシステム) / [6] NOK / シンジーテック / [7] カネカ / [8] 錦城護謨 / [9] 金陽社 /
[10] グンゼ / [11] 信越ポリマー / [12] 住友ゴム工業 / [13] 住友電気工業 / [14] 住友理工 / [15] TDK /
[16] 東邦ゴム工業 / [17] 日星電気 / [18] ニッタ化工品 / [19] NE OMAX エンジニアリング / [20] バン
ドー化学 / [21] フコク / [22] プロテリアル (旧日立金属) / [23] 明治ゴム化成 / [24] ヤマウチ

C-2. 内製メーカー 347

[1]キヤノン/[2]リコー/[3]富士フイルムビジネスイノベーション/[4]コニカミノルタ/[5]東芝テック

C-3. 海外専業メーカー 357

[1] Ah-Sung Chemical (韓国) / [2] Foshan Ascend Precision Accessories (中国) / [3] Galaxia
Device (韓国) / [4] Jahwa Electronics (韓国) / [5] Sang-A Frontec (韓国) / [6] Shenzhen
Fancy Creation Industrial (中国) / [7] Shenzhen LEPUTAI Technology (中国) / [8] Taejin
Precision (韓国)

C-4. その他メーカー 375

[1]日本メーカー/[2]海外メーカー

分析編

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

4. 部品別OEM/サードパーティ比率(2022年)

	出荷本数(千本)			出荷金額(百万円)		
	OEM	サードパーティ	合計	OEM	サードパーティ	合計
帯電ローラー						
マグネットローラー						
非磁性現像ローラー						
トナー供給ローラー						
転写ローラー						
中間転写ベルト						
ヒートローラー						
定着ベルト						
加圧ローラー						
加圧ベルト						
クリーニングブレード						
給紙ローラー						
搬送ローラー						
総合計						

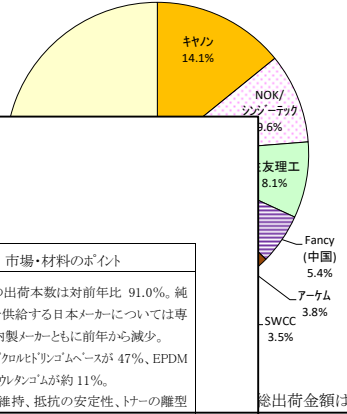
分析編

3. ローラーメーカーの出荷金額シェア (2022年)

1) 複写機・LBP向け

単位: 億円

	2022年	%
キヤノン	262	14.1%
NOK/シンジーテック	178	9.6%
住友理工	151	8.1%



[調査結果の要旨]

【調査結果の要旨】

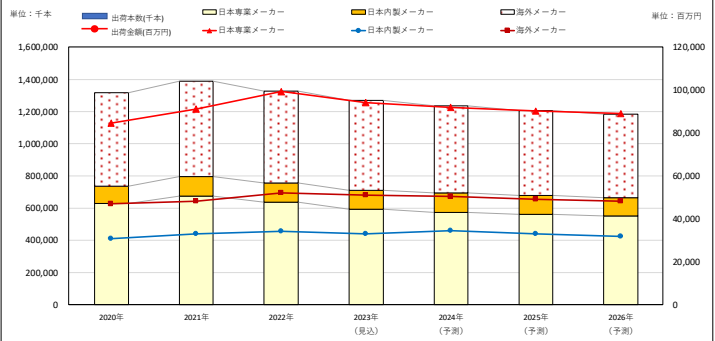
ローラー系部品	2022年出荷実績	2026年出荷予測	市場・材料のポイント
帯電ローラー	・1億7,190万本/306億4,600万円の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位住友理工、2位キヤノン(内製)、3位Ascend(中国)。	・1億4,690万本/259億4,400万円の予測。 ・上位1-2社は変わらず。 3位NOK/シンジーテック。	・2022年の出荷本数は対前年比91.0%。純正品向けを供給する日本メーカーについては専業メーカー、内製メーカーともに前年から減少。 ・材料はエポキシ樹脂/シリコンベースが47%、EPDMが約42%、ウレタンが約11%。 ・帯電性の維持、抵抗の安定性、トナーの離型
マグネットローラー	・1億2,025万本の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位キヤノン(内製)、2位TDK、3位キヤノン(内製)。		
非磁性現像ローラー	・8,895万本/218億円の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位キヤノン(内製)、2位住友理工、3位信越化学。		
トナー供給ローラー	・9,623万本/81億円の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位Fancy(中国)、2位キヤノン(内製)、3位キヤノン(内製)。		
転写ローラー	・5,019万本/58億円の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位住友理工、2位キヤノン、3位キヤノン。		
中間転写ベルト	・979万本/119億円の市場。 ＜出荷本数ベース＞ ・1位アークム、2位キヤノン、3位アークム。		

総出荷金額は

分析編

A. 分析編
A-1. 機能性高品質の全体市場動向
1. 日本メーカー/海外メーカー別出荷動向(2020年~2026年)

	2020年		2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	
出荷本数(千本)	専業メーカー	629,054	47.8	676,739	48.7	635,904	47.9	594,406	46.9	573,476	46.3	562,236	46.5	552,586	46.7
	内製メーカー	108,862	8.3	118,690	8.5	121,230	9.1	116,265	9.2	121,810	9.8	116,790	9.7	112,060	9.5
	日本メーカー合計	737,916	56.1	795,419	57.2	757,134	57.0	710,671	56.1	695,286	56.2	679,026	56.2	664,646	56.2
	対前年比	-	-	107.8	107.8	95.2	93.9	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8
出荷金額(百万円)	専業メーカー	84,717	52.1	91,273	52.9	99,248	53.5	94,179	52.8	91,891	52.0	90,334	52.3	89,030	52.6
	内製メーカー	30,890	19.0	33,042	19.2	34,180	18.4	32,956	18.5	34,427	19.5	33,123	19.2	31,915	18.9
	日本メーカー合計	115,607	71.1	124,315	72.1	133,428	72.0	127,135	71.3	126,318	71.5	123,457	71.5	120,945	71.5
	対前年比	-	-	107.3	107.3	107.3	95.3	99.4	97.6	97.6	97.6	97.6	97.6	97.6	97.6
海外メーカー合計	46,982	28.9	48,113	27.9	52,004	28.0	51,165	28.7	50,287	28.5	49,211	28.5	48,231	28.5	
対前年比	-	-	102.4	108.1	108.1	98.4	98.3	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	
合計	162,589	100.0	172,428	100.0	185,432	100.0	178,300	100.0	176,605	100.0	172,668	100.0	169,176	100.0	
対前年比	-	-	106.1	107.5	107.5	96.2	99.0	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	



※本頁の総合計は「その他」(クローム)

部品市場におけるOEM/サードパーティ金額ではOEMが全体の89.1%、サードパーティが10.9%を占める。レーザープリンタの本体出荷台数に占めるOEM/サードパーティ製カートリッジの本数比率は、OEMが91.0%、サードパーティが9.0%を占める。

※本頁の総合計は「その他」(クローム)

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（ 刊行日・価格の
変更があります ）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、harianu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2023年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月/年
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～	2021年 7/27～	英	
《 2023年刊行予定物 》						
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/21	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	6/下 予定	\$6,000	8/下 予定	日 英	
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/下 予定	\$5,000	12/中 予定	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧]	¥600,000	12/下 予定	—	—		
《 2022年刊行物 》						
* 2022年版[感光体マーケット総覧] (273頁) 『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/20	日 英	
* 2022年版[ローラー系部品マーケット総覧] (393頁) 『共存共生関係の構築を目指す部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000	7/8	日 英	
* 2022年版[トナーマーケット総覧] (594頁) 『ハイブリッドワーク時代に於けるトナー市場の総合分析』	¥600,000	6/24	\$6,000	8/19	日 英	
* 2022年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (419頁) 『ものづくりに変革をもたらすインクジェット技術の 最新市場動向』	¥500,000	10/26	\$5,000	12/9	日 英	
* 2022年版[MFPマーケット総覧] (723頁) 『DX時代に問われる事務機業界の成長性分析』	¥600,000	12/22	—	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000	2020年 12/23	日 英	
* 2020年版 【緊急レポート(コロナショックと業界大規模再編)】(240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の 地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000	2020年 6/19	日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	